

難問山積 覚悟の船出

村上氏 政治再生 強い声

選挙結果を
振り返って

―選挙結果をどう受け止めているか。

村上 この3年3カ月を総括すると、間違ったマニフェスト(政権公約)などで政治や行政の基本がかなり傷んだ。特に財政、外交、エネルギー政策を早く立て直さないといけないという皆さんの思いを感じた。ただ、遅れを取り戻すだけでも4〜5年かかり、さらに前進するにはよほど頑張らねばいけない。

政策課題

―県民と関わりの深い国政課題である原発、消費増税、環太平洋連携協定(TPP)問題への対応は。

村上 原発もTPPも民主政権が秘密主義で情報が分からない。事故原因を解明できない。安全基準はできない。TPPもどのような分野で影響を受けるのか誰も知らされていない。社会保障費は現状で108兆円、25年に145兆円になる。いくら消費税を上げても人件費や物価の上昇で相殺される。医療・年金・介護の現行システムをどう直していくか、受益と負担のバランスをどうするか、少子高齢化をにらみながら持続可能な形に組み替えていく必要がある。



村上氏 魅力 再認識へ

地方への対処策

―地方の窮状への対処策は。

村上 気候温暖、新鮮な農水産物、歴史ロマン風土といった特長をどうつないでいくか。瀬戸内しまなみ海道の3連つり橋(来島海峡大橋)など郷土の素晴らしさへの認識が薄い。祭りにしてもバラバラにやっており、総合的に売り出した

衆院選で当選した自民、日本維新の6氏が、選挙戦の総括や年内に発足する自公政権の課題を話し合った「愛媛国会」

17日、愛媛新聞社(撮影・柳生秀人)